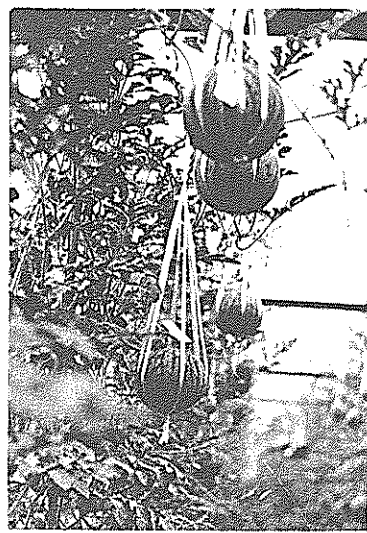




# 市民のひろば



夏のかおり (田村で)

## 市民の声

リズムカルでない高度経済成長は、早くも人間をむしばみ、ほろぼし始めました。こんな時です六月四日のむし歯デーを改めて考えよう。社会環境の悪化によって、一例をあげると多くの家庭では、あまりにも両親が忙しくすることもままらや時間少ない。その代償としてとに角ふんだんにごつかいを与える。自然食に囲まれたむかしのごときとちがって、現代っ子は加工食品の恩恵をこうもって、ますますむし歯をほびこらしています。一般の医療には早くから予防接種などが義務づけられ、保健衛生に成果をあげてきました。歯科の分野でも、古く

## 歯の衛生指導に専門職員を

最近の歯槽膿漏(しそうのうろう)にかかると率をみますと国民の九八割が悪くなり、このうち治療をうけているものが〇・六割。これを南園市に於てはめてみると市民四万二千人のうち四万四千六十人が治療を要する数となり、治療をうけている人は、わずか二千四百七十人という数になります。

岡豊町・川添光一(歯科医師)

## 親子スイグ⑩

今月号の広報をみてこたえてください。  
 ▼もんだい  
 ①市全体で1日に〇〇トンのゴミができます。  
 ②危険物の回収は、〇曜日です。  
 ▼しめきり・6月20日(火)  
 ▼おくりさき・市役所、広報委員会  
 ▼しょうひん・1人に2,000円、10人に記念品をおくりします。

### 第9回の正解者

▼こたえ  
 ③三つ  
 ▼2,000円・のぶよしたかあき(金地) 記念品・竹村りつ(西山) 島崎宏泰(小進) 福井都代(里改田)  
 今月号は正解者がとても少なかった。むつかしかったかな。



メーカーや小売店の販売合戦につきまのがオマケや景品です。「その商品をいま買えばトク」と消費者に思わせることよって売り上げの増加をはかろうとするのがねらいです。景品には抽選で、景品があたる仕組みのものや、一つでも買えば必ずがついてくるもの(オマケ)そして

## タダでないおまけや景品



私が日ごろ買物でもらっているシールなどいろいろの種類があります。このような景品は、い

## 損得コーナー

だけ値引きを要求する形で、取り引きに参加するのも、かしこい消費者といえます。

## 広報の5年以上保存者 松木二郎さんら15人

▼広報委員会では、広報なんこくを5年以上もっている人をつのっていました。5月15日までに申し出られた人は、松木二郎さんら15人ありました。広報は、昭和39年から現在の大きさ(B5)に変更しましたが、保存しやすい保存しておくといろいろ参考になると喜ばれています。なかには参考になる部分に赤線を引いて真っ赤になっているものもあり編集するものにとっては、非常にうれしく思いました。

▼保存された人は、次の人たちです。松木二郎(里改田) 松本美得子(大埴) 三谷みゆき(東崎) 山本正重(立田) 柳瀬タツ子(久礼田) 坂東香(包未) 橋本正俊(片山) 竹島益雄(立田) 坂本信治(野中) 山崎喜一(下末松) 柴田香(後免) 沢本起太子(里改田) 島本直治(危岩) 岡本直馬(大埴) 宮本駒治(大埴)

▼来月号の広報誌では、これらの人々を紹介するとともに、広報に対するご意見を聞かせていただくように計画しています。

□……前月号のこのページに、市民の声をよせていただきました白木谷の岩原重子さんの文章の中で、印刷所のミスで一部の地区では、印刷の不鮮明なところがありご迷惑をかけました。おわびします。

## ヨーロッパの印象

④ 北欧のスイーデンやデンマークの市街地は、きわめて落着いたふんいきで町も清潔である。ロンドンやパリに入ると、一変して町は活気にあふれているが繁華街でも紙くずやすいが散らかってあまりきれいとはいえない。実のところ東京に帰ったような気分になり、ホッとすする。ロンドンの地下鉄は、日本やパリーの地下鉄とちがって地下の深いところを走っている。これに乗るためのエスカレーターは六〇度以上の急勾配

面白いのは、これに乗るときは右端に寄って左側をあけて立つのがエチケット。左側は急ぐ人の追越し進路である。

われわれ頭の古い人間は、英国人というのは、山高帽にフロックコートでも着てゆうゆうと歩いて

## 英国紳士……? 実は東京と同じ

いる気品の高い民族だといったイメージをいだいていたが、どうして、どうしてとんでもない。この急傾斜のエスカレーターを男も女もジャンジャン駆け上がり、駆けおりに追い越すのはびびり。一場末の郊外への連絡駅の地下道

を通ると壁には落書きもあるし、昨夜したらしい真新らしいヘドも目にかかったし、時には古段ボールを敷いて昨夜泊つたらしいこん跡も見た。また、連絡道で必ずお目にかかったのが、ギターをかかえて大きな声で歌いながら資金カンパをして

いるヒッピースタイルの青年たちである。歌詞がわからないので通訳に「反戦歌ですか」と聞くと必ずしもそうではないとのこと。欧州といえど何んでも進んでいくような感じをもつが、必ずしもそうではない。いづこも同じ秋の夕暮れか。(山)

## 雨季来たる 南園ライオンズクラブ認証式



植田・古谷栄幸

## 地域社会にライオンズの光

一本の明かり、一本の小さな明かり、それはわずかに身の廻りを照らすにすぎない、しかし幾千万と集まれば、影と闇とをなくする巨大な光明となるにちがいない。

南園ライオンズクラブ(山本尚一会長)の認証証伝達式が、五月十四日市民体育館で行なわれました。ライオンズは友愛の精神を養い、平和と自由を守り社会奉仕を目的としてシカゴに誕生。南園ライオンズは日本で千六百三十二番目、高知県では十八番目のクラブとして誕生したわけであり、当日はシカゴ本部から正式に認証状が手渡され、全国各地から九百人のクラブ員がお祝いにかけつけました。

なお、記念事業として、教育委員会に育英資金の一部として四十万円が、毎年積みたてて大きな基金をつくるユニークな計画のほか、交通安全塔の設置や土佐希望の家老人ホーム清風園、重症身心障害児施設愛童園などに金一封が、おくりさきとしてシカゴに